

『ディケンズ鑑賞大辞典』 - 『大いなる遺産』 - 地図

全体図



拡大図 (テムズ河下流)



A 作品の終盤でマグウィッチが捕らえられ、コンピソンが溺死した流域 (54章)

B ピップがマグウィッチと海外逃亡の前の晩を過ごす居酒屋のある地点 (54章)

C オーリックがピップを呼び出して殺そうとした石灰窯小屋のある地点 (53章)

D ピップがマグウィッチに食べ物とヤスリをあげた砲台のある地点 (3章)

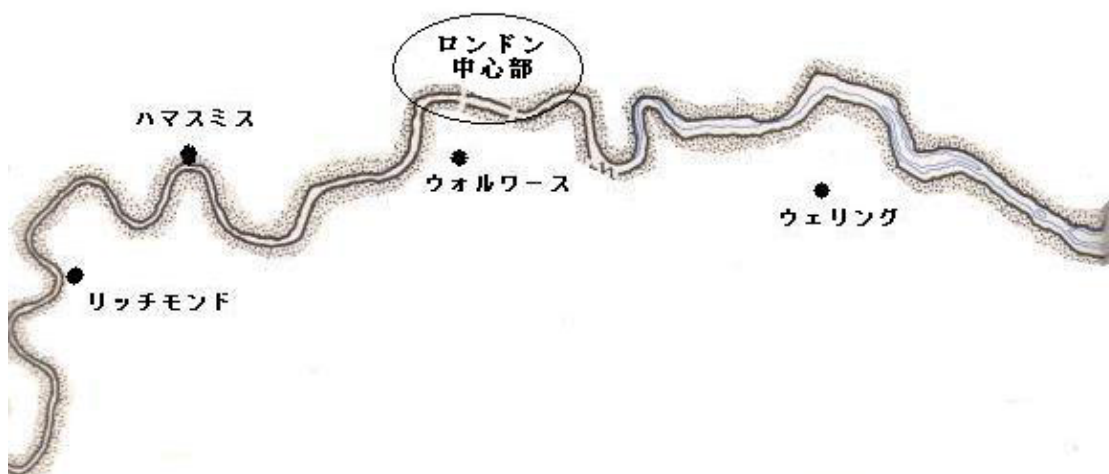
チャタム 父の転勤で1817年から1821年までディケンズが住んだ町。

グレイヴズエンド ピップがマグウィッチを逃亡させる途中で休息と食料調達のために接岸した町 (54章)

ロチェスター ミス・ハヴィシャムとパンプルチュックが住む町 (ロチェスターの拡大図を参照のこと)

ロウアー・ハイアム ピップが鍛冶屋のジョーと住んでいる村のモデル (クーリングもモデルの一つで、ここの教会墓地には菱形の5つの子供の墓石のモデルがある)

拡大図（テムズ河上流）



ウェリング ハヴィシャムから手紙をもらってサティス・ハウスに出かける際に、途中で馬車から降りる「ハーフウェイ・ハウス」があると思われている村（49章）

ウォルワース ウェミックの「城」がある郊外の村（24-25, 37, 45, 48, 55章）

ハマスミス ピップに紳士教育を授けるポケット氏が住んでいる場所（21-23, 46章）

リッチモンド エステラが下宿するブランドリー夫人の家がある場所（33, 38章）

拡大図（ロチェスター）



メドウェイ川の橋から南東に走るハイストリート（本通り）

『エドウィン・ドルードの謎』で邪悪なジャスパーが聖歌隊長を務める大聖堂。

ミス・ハヴィシャムの屋敷（サティス・ハウス）：モデルとなったのはメイドストーン・ロードにあるレストレーション・ハウス（8-9, 11-13, 15, 19, 29, 38, 44, 49, 59章）

紳士になったピップが泊まる「青猪亭」（13, 19, 28, 30, 43章）

パンプルチュックの店（8章）

拡大図（ロンドン中心部）



ジャガーズの事務所「スミスフィールドのはずれ、乗合馬車発着所のそば」(20章)

ピップがロンドンに初めてやって来た時に、乗合馬車が到着したチープサイドのウッド・ストリートにある「クロス・キーズ」亭(20, 28章)

ピップがハーバートと一緒に住むバーナーズ・イン(20-22, 24, 30-31章)

ジャガーズが住むソーホー地区のジェラード・ストリート(26章)

ハーバートがピップのために果実を買ったコヴェント・ガーデン(21, 34, 45章)

ピップがバーナーズ・インを出たあとに下宿するテンプル地区のガーデン・コート(39章) およびピップがマグウィッチを下宿させるストランド街のエセックス・ストリート(40)

スミスフィールド(の西): 生きた家畜の取引所、肉市場。「汚物と脂と血と泡で汚れきった恥ずべき場所」(20章)

チープサイド(の南): この辺りをぶらぶらしていたピップはジャガーズに声をかけられ、ジェラード街にある彼の自宅での食事に誘われる(48章)

ニューゲート(監獄)(の南): ピップは初めて上京した日にここを訪れる(20章)

ブラックフライアーズ橋: ピップはマグウィッチを海外逃亡させるべく、この橋の上流あたりでボード漕ぎの練習をする(46章)

フリート・ストリート(から東へ走る通り): ピップはここで貸し馬車に乗ってコヴェント・ガーデンのハラムズ・ホテルへ行く(45章)

ボウ・ストリート(の北東): ここにボウ街逮捕班員(Bow Street Runners)というロンドンで最初の警察隊の事務所があり、1830年代半ばまで存続した。ピップの姉が襲撃された時、この刑事たちが派遣される(16章)